

～あなたと私のきずなは
太くてコシがある～

樋口研究室



私たちは、

- ①武蔵野地域のために、
- ②武蔵野地域の人のために、
- ③学生の学びのために、

武蔵野地域に古くから伝わる、
武蔵野うどんを使って、
地域素材を生かした地域教育を行います。



企画の概要


- ① イベントの計画（授業づくり）
- ② 武蔵野うどん勉強会
- ③ イベント（授業）の実施
- ④ 成果報告書の作成

A decorative header consisting of five circles in a row. From left to right: a solid light purple circle, an outlined light purple circle, a solid light purple circle, an outlined light purple circle, and a solid light purple circle.

① イベントの計画（授業づくり）

イベントの実施に向け、イベントの企画、準備、授業作りを進めていきます。また、指導案の作成も行います。

→学生が、参加者の効果的な学びを引き出すために、どうしたら良いのか考える。教育イベントや授業の準備のノウハウを学び、将来の教育活動に生かす。



②武蔵野うどん勉強会

事前に学生が、講師の方々から、武蔵野うどんの作り方、文化、歴史を学ぶ。

→イベントの計画案をより具体的にする。

学生と講師が協力してイベントを主体的に進めていくための役割分担や、イベント内容の充実と、参加者の学びを高める方法を共に考える。

③ イベント（授業）の実施

小学生親子を対象に、武蔵野うどん作りを行うことと、その文化、歴史に関する講義を行う。

- 武蔵野うどんの伝道師を育成する。
- 地域の人に武蔵野うどんを知ってもらう。
- 学生が主体的に授業を行うことで、地域教育の実践の場とし、教育の経験を積む。



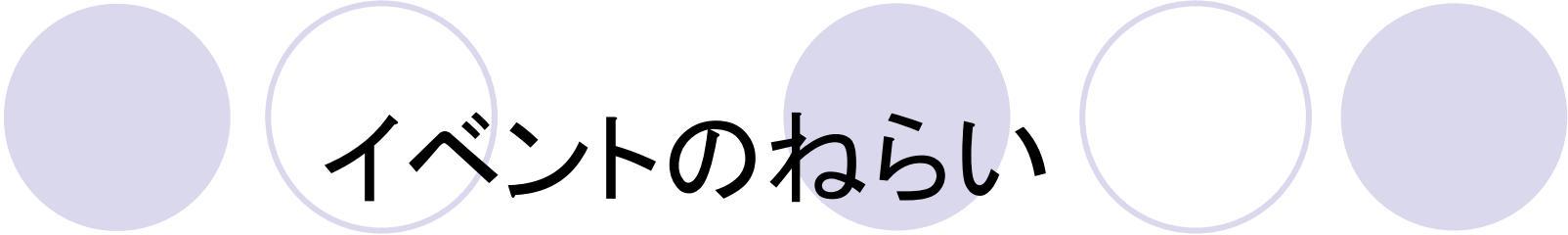
イベントの詳細

- 対象：武蔵野地域の小学3～6年生親子
（20組40名）
- 場所：東京学芸大学環境教育実践施設
および農園
- 実施：8月中旬（予定）
- 募集方法：新聞地方版への掲載、市報への
掲載（大学周辺3市）等




教材

- 昔の小金井の資料(風景写真等)
→ 小金井市文化財センターより
- 小麦の穂
→ 清水勇さん(小金井市緑町)より
- うどん作りの道具
→ 中山谷青壮年会、小金井市緑センターより



イベントのねらい

- ①参加者に、武蔵野うどんの文化を知ってもらう。
→「参加者の学び」
- ②武蔵野うどんの文化を知り、後世に伝えてい
ための伝道師を育成する。
→「地域の財産となる」
- ③地域教育実践の場として経験を積み、学生の
教育スキルを高める。
→「学生の学び」



④成果報告書の作成

イベントの計画から実施までの成果報告書を作成します。

→2月の報告会に向けた実施報告をまとめる。加えて、作成した指導案、イベントに対する参加者の反応、反省点等を詳しく載せ、今後の地域教育の参考資料となるような報告書とする。



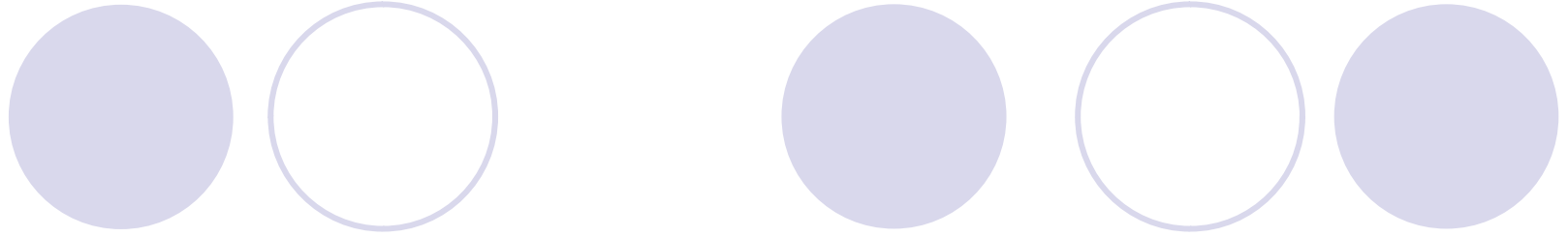
講師の紹介

中山谷青壮年会（小金井市東町・中町）

- ・清水正男さん
- ・遠藤民蔵さん
- ・川口幸男さん

→農家を中心に、昭和38年に誕生。

昭和46年以降、「敬老うどん会」と称したうどんを使った講座を開いている。



ご清聴ありがとうございました。